

第31期 株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日

Business Report

ホロンのものさしはナノメートル。
見えない世界を測ります。

Contents

- ・ 株主の皆様へ
- ・ TOPICS
- ・ 業績ハイライト
- ・ 財務諸表（要旨）
- ・ 会社概要 / 役員 / 株式状況 / 株主メモ
- ・ HISTORY(沿革) / ホームページのご案内

株主の皆様へ



半導体産業が
多分野に広がる中、
当社の強みを活かした展開を
行ってまいります。

代表取締役社長 新田 純

株主の皆様には、平素より格別なご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第31期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)における営業及び決算の概況と今後につきまして、ご説明申し上げます。

最初に、当第31期の配当につきましては、2016年6月29日第31回定時株主総会において、1株当たり5円の配当が決議されました。株主の皆様におかれましては、2006年3月期の中間配当を最後に無配となり、ご迷惑をおかけしてまいりましたが、これまでのご支援を感謝するとともに、引き続き、収益力および財務体質の改善に努めてまいります。

2016年1月の年明け、日本経済は円高と株価の下落で始まり、3月の月例経済報告では、「弱さもみられるが緩やかな回復基調が続いている」に基調が下方修正されております。世界経済においても、金融資本の変動、中国をはじめとする新興国や資源国の景気に留意する状況下にあります。

当社は欧米に販路とサービス網がなかったため、欧米進出ができませんでしたが、株式会社ホロンとアプライドマテリアルズ社(米国)はマスクCD-SEMの販売代理店契約を2016年2月5日に締結いたしました。今後欧米市場の販売をアプライドマテリアルズ社とともに展開してまいります。

このような状況のもと、当第4四半期におきまして、顧客より高い評価をいただいております当社主力製品「Zシリーズ」のマスクCD-SEM機とウェハ用CD-SEM機「ESPA-3000シリーズ」を出荷いたしました結果、当期実績は後記財務諸表のとおりになりました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

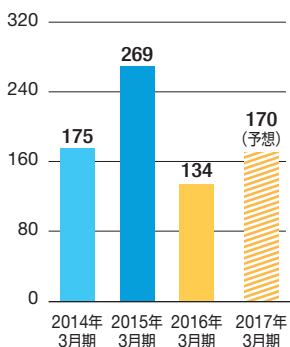
次期の業績予想

次期の見通しにつきましては、半導体の需要は堅調に推移しておりますが、マスクCD-SEM市場におきまして競合会社との価格面での競争激化が予想されております。当社は主要顧客の設備投資動向を鑑みながら、マスクCD-SEMの更なる性能向上と収益体質の改善に取り組み、顧客の仕様ニーズに対応した製品を提供して業績の拡大と収益向上に努めたいと考えております。

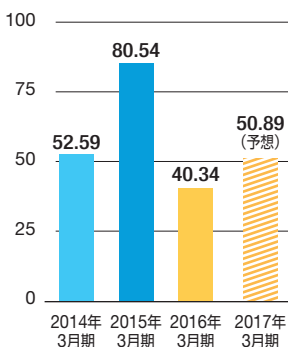
なお、当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

次期の年間目標につきましては、売上高1,550百万円、営業利益200百万円、経常利益200百万円、当期純利益170百万円を見込んでおります。

当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



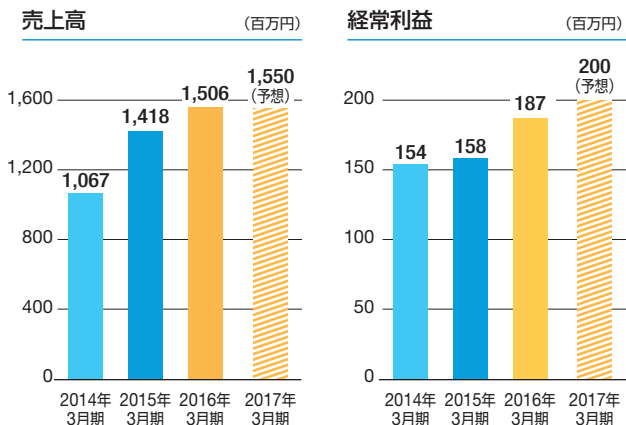
業績ハイライト

当期の概況

半導体業界の成長におきましては、パソコンやスマートフォン(スマホ)需要の伸び悩みがあり、半導体製造装置の世界市場全体では横ばいで推移すると予測されている一方、3D-NANDフラッシュ・メモリのような新たな生産方式に関わる半導体製造装置や、最先端の10ナノメートル台における半導体設備の投資は活発で、計測・検査装置は“歩留まりの向上”になくてはならない設備であるため、設備投資は堅持されております。

このような状況のもと、当社におきましては受注・販売計画は予定通りに推移いたしました。当社主力製品「Zシリーズ」のマスクCD-SEM機、「LEXa(レグザ)シリーズ」のレビューSEM機、「ESPA-3000シリーズ」のウェハ用CD-SEM機も出荷することができました。

上記の結果、当期の売上高1,506百万円(前年同期比6.2%増)となりました。損益につきましては、営業利益200百万円(前年同期比27.7%増)、経常利益187百万円(前年同期比18.5%増)となりました。減損損失として51百万円の特別損失を計上したため、当期純利益は134百万円(前年同期比49.9%減)となりました。



財務諸表(要旨)

単位：百万円、単位未満切捨て

■ 貸借対照表

科目	前期 2015年3月31日現在	当期 2016年3月31日現在
流動資産	1,234	1,352
固定資産	504	520
流動負債	601	612
固定負債	280	270
純資産	856	990
総資産	1,738	1,873

■ 損益計算書

科目	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	1,418	1,506
営業利益	157	200
経常利益	158	187
当期純利益	269	134

■ キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26	305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38	△7
現金及び現金同等物の期末残高	224	391



より詳細な情報については
IRサイトにて決算短信などをご覧ください。

「ISO9001」の認証を 取得いたしました。

2016年3月15日、品質マネジメントシステムについての国際規格であるISO9001を取得いたしました。

当社は、従業員ひとりひとりの品質に対する認識を高め、継続的に改善することを通じて、グローバル企業として世界中に安定的な製品供給を継続することを心がけております。今後もさらなる品質改善を進めてまいります。



ISO9001とは

製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格です。取得のためには安定した品質、サービスを供給するために会社としての方針を定めて、その方針に沿った仕組みや手順を企業で構築することが要求されます。

ホームページを リニューアルいたしました。

2016年6月、当社ホームページをリニューアルいたしました。より大きく、見やすいデザインでお探しの情報が見つけやすくなっております。

以下のQRコード、URLからアクセスできますのでぜひ一度ご覧ください。



ホームページのご案内

<http://www.holon-ltd.co.jp/>



会社概要

2016年3月31日現在

会社名	株式会社ホロン (HOLON CO., LTD.)
所在地	〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1 TEL : 04-2945-2951 (代) FAX : 04-2945-2962
設立	1985年5月
資本金	6億9,236万円
従業員数	40名
事業内容	半導体検査装置の開発、製造、販売、保守サービス

役員

2016年6月29日現在

代表取締役社長	新田 純	取締役	澤良木 宏
取締役	張 皓	常勤監査役	柳原 香織
取締役	大島 道夫	監査役	齋藤 秀一
取締役	菅野 明郎	監査役	齋藤 正祐

※取締役 澤良木宏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※監査役 齋藤秀一及び齋藤正祐の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、齋藤秀一氏は東京証券取引所の定める独立役員であります。

株式状況

2016年3月31日現在

	大株主	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
発行可能株式総数	10,200,000株	株式会社イー・アンド・デイ	1,021,600	30.58
		富加津 好夫	418,900	12.54
発行済株式総数	3,340,500株	新田 純	83,000	2.48
		梶村 幸三	35,000	1.04
		富加津 哲子	34,700	1.03
株主数	2,771名	穴澤 紀道	32,300	0.96
		井上 宏	27,700	0.82

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
売買単位	100株
株主名簿管理人及び特別口座の管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店

■住所変更、株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

HISTORY (沿革)

- 1985年 5月 東京都新宿区に(株)ホロンを設立 (資本金3,300万円)
- 1985年11月 東京都狛江市にテクニカルセンターを設立
- 1986年10月 電子ビーム微小寸法測定装置 (ESPA-11) を開発・発表
- 1996年 3月 テクニカルセンターを東京都狛江市から
埼玉県所沢市に新設・移転
- 1998年12月 マスク用電子ビーム微小寸法測定装置
EMU-200/300を開発・発表
ステンシルマスク検査技術 (特許) を確立・発表
- 2002年 9月 マスク用電子ビーム微小寸法測定装置、海外向け
バージョンとしてEMU-220Aを発表
- 2004年 4月 韓国支店を開設
- 2005年 2月 株式会社ジャスダック証券取引所に上場
※現 東京証券取引所JASDAQ
- 2006年11月 電子スタンパーEBLITHOを開発・発表
- 2009年 7月 本社を東京都新宿区から埼玉県所沢市に移転
- 2010年11月 EMUシリーズをモデルチェンジし、Z7を発表
- 2010年12月 ロールモールド評価用SEM (Roll-SEM) を開発
- 2011年 2月 nano tech大賞2011 微細加工技術部門賞を受賞
- 2013年11月 EDS分析のLEXa-7を発表
- 2014年 5月 NEDO助成事業に採択
「NIL ナノパターンの観察計測ができる高分解能
CD-SEMの開発」
- 2015年12月 ウェハ用CD-SEM ESPA-3000シリーズを開発・発表
- 2016年 3月 品質マネジメントシステムISO9001認証取得

ホームページのご案内

会社情報、IR情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.holon-ltd.co.jp/>

HOLON
株式会社 **ホロン**

〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1
TEL : 04-2945-2951 FAX : 04-2945-2962